

(22) 教員個人調書 教育研究業績書（様式第4号（その2））

1. この書類は、学長及び当該申請に係る学部等において授業科目を担当する専任教員（当該申請に係る研究科等において授業科目の授業を担当せずに研究指導のみを行う教員を含む。）について作成し、担当予定授業科目に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等の業績について作成してください。
2. 専任教員以外の教員及び助手については、この書類を作成する必要はありません。
3. 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成してください。
4. 「氏名」の欄について
  - ① 印は、本人の署名をもって代えることができます。（抜刷に添付するものはコピーで可）
  - ② 旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
5. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について
  - ① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。
  - ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号、第16条の2第3号に該当する者）としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。
6. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について
  - ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
  - ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
  - ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
  - ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
    - ア 「1 教育方法の実践例」について
      - 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
      - 司法研修所等の教育機関における教育経験
    - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
      - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
    - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
      - 採用決定の際等における評価内容
      - 各大学における自己点検・評価での評価結果
      - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
    - エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
      - 大学から受け入れた実習生等に対する指導
      - 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
      - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
      - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

- オ 「5 その他」
  - 大学教育に関する団体等における活動，教育実績に対する表彰等
  - 国家試験問題の作成等
- ⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例
  - ア 「1 資格，免許」
    - 医師，歯科医師，薬剤師，看護師，教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
  - イ 「2 特許等」
    - 特許，実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
  - ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
    - 大学との共同研究
    - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
    - 各種審議会・行政委員会，各種ADR等の委員
    - 行政機関における調査官等
    - 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
    - 調査研究，留学，海外事情調査等
    - 上記を裏付ける報告書，手引き書，マニュアル，雑誌等
  - エ 「4 その他」
    - 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
    - 論文の引用実績等
- ⑥ 資格の証明書，雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

#### 7. 「研究業績等に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には，書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- ② 「著書，学術論文等の名称」の項について
  - ア 研究等に関連する主要な業績を，「(著書)」，「(学術論文)」，「(その他)」の項目に適切に区分し，各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
  - イ 著書については，書名を記入してください。
  - ウ 学術論文については，学術雑誌，学会機関紙，研究報告，紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については，その旨を明記してください。
  - エ その他については，総説，学会抄録，依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを，報告発表，座談会，討論等にあつては当該テーマをを記入してください。
  - オ 美術関係等の業績として作品集を提出する場合は，別途1部提出してください。なお，作品集については，審査終了後に返却が可能ですので，提出時にその旨を申し出てください。
- ③ 「単著・共著」の項には，当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」，著作者が複数いる場合には，監修，編集，編著，共著，部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ④ 「発行又は発表の年月」の項には，当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤ 「発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
  - ア 著書については，発行所を記入してください。
  - イ 学術論文等については，発表雑誌等の名称，巻・号，掲載ページ等を明記してください。
  - ウ 報告発表等の場合には，学会大会名，開催場所等を明記してください。
- ⑥ 「概要」の項について
  - ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
  - イ 当該著書等が共著の場合には，本人の担当部分の章，節，題名，掲載ページを記入するとともに，本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また，本人の担当部分の抽出に困難があるときは，その理由を記入してください。